

要望14件を付して

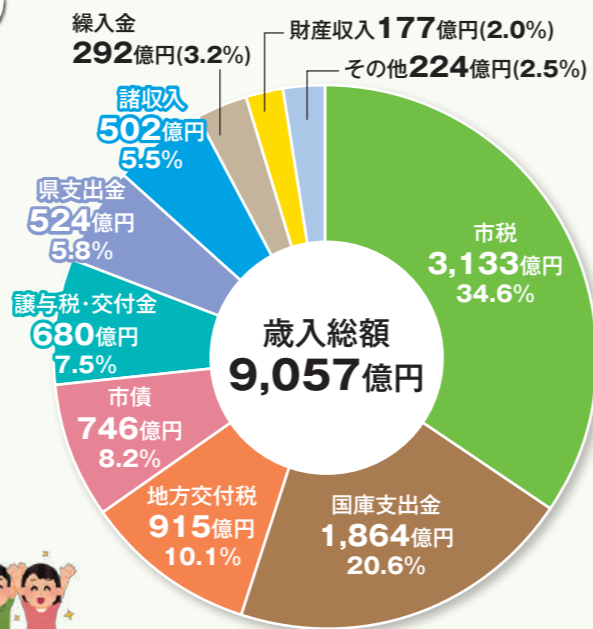
令和6年度予算を承認しました!

【承認理由】 新年度予算では我が会派が予算要望した、都市の成長、子育て・教育、高齢者・障害者福祉や健康に関する多くの項目に予算がつきました。また、持続可能な自治体経営、住みよい安全・安心のまち創りなどの期待する予算となったため令和6年度予算を承認いたしました。昨年末、神戸市は、働く女性向けウェブメディア「日経×woman(クロスウーマン)」と日本経済新聞社の調査「共働きで子育てしやすい街ランキング」では、**全国で4位、関西でトップ**となりました。今後も市民目線に立った市政改革提案を進めていきます。

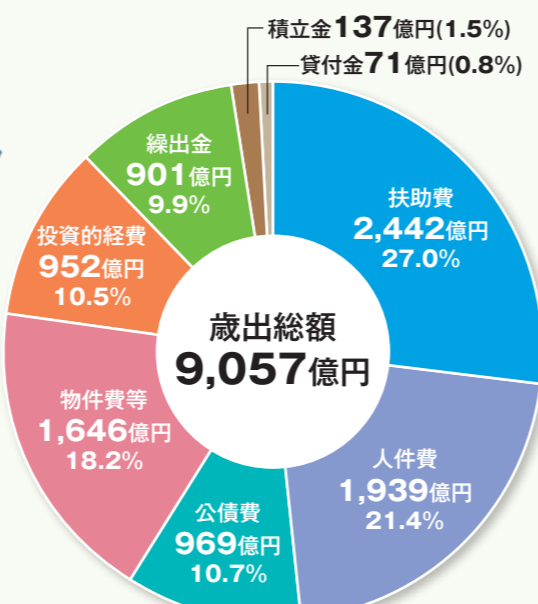


▲要望内容は
こちら

一般会計



款別歳入予算の構成比



性質別歳出予算の構成比

会派からの要望に予算がつきました(一部抜粋)

① 路上喫煙対策について

ぼい捨て防止重点区域を中心とした啓発活動及び巡回清掃の拡充
路上喫煙禁止区域における屋内型喫煙所整備補助の創設



② 障害者施策、困窮家庭の学習支援の充実について

発達障害者の支援体制の強化拡充
経済的事情を抱える家庭学習の支援拡充(中学生オンライン学習)



③ 児童虐待防止対策について

こども家庭センターの体制強化・児童家庭支援センターの増設



④ 子育て支援について

生後1か月時に受診する健康診断の費用を助成



⑤ 神戸空港国際化について

空港からのアクセス強化、新ターミナル整備などの空港機能強化



⑥ 介護予防・フレイル対策について

フレイル状態にある方に対して改善プログラムを提供する箇所数拡大



⑦ グリーンステーション管理支援について

鳥獣被害対策の強化(カラス対策ネットボックスのモデル設置)
外国人向けごみ出しルール啓発強化など排出ルールの徹底



⑧ 駅周辺のリノベーションについて

三宮駅を始めJR駅周辺空間の駐輪場整備等、ハード・ソフトの再整備
地下鉄駅前、神鉄沿線の地域の特性を活かした再整備



⑨ 大阪・関西万博について

空飛ぶクルマの社会実装に向けた民間企業の取り組みの支援
万博会場での催事実施に向けた企画及び機運醸成



神戸市会議員の期末手当アップ 維新は反対!!

令和5年12月6日11月議会において自民党・公明党・こうべ未来より上程されました、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対を行いました。



交渉会派	日本維新	自民	公明	こうべ未来	共産
賛否	×反対	○	○	○	×

※所属議員5名以上の交渉会派のみ記載 ▲反対討論はこちら

主張

全国政令市で2番目に高額である議員報酬をさらに増額させることは、**市民からの理解を到底得られるものではありません!**実質賃金の上昇及び、さらなる行財政改革を推進し、**市民生活を改善・向上させていくことが最優先!!**



身を切る改革を
実行しました!!

令和5年分!

20,096,372円を

石川県(令和5年7月大雨災害義援金)、
福島県(令和5年台風第13号災害義援金)に寄付しました!!



▲寄付の状況はこちら

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが

身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

令和6年 能登半島地震支援

令和6年1月1日の能登半島地震で亡くなられた方々に、心から哀悼の意を捧げます。被災された皆様には、今なお厳しい状況が続いていることを深く、お見舞い申し上げます。

神戸市からも多くの職員が派遣され、尽力されています。日本維新の会神戸市議員団としても、本市の教訓を基にした被災地の支援と効果的な復旧を推進していく所存でございます。被災者が1日も早く復興し、皆様が再び平穏な日常を取り戻せることを心からお祈り申し上げます。

神戸市は石川県珠洲市に対し、対口支援(カウンターパート)方式*による支援を行っています。 *被災市区町村を1対1で担当する団体が自己完結的に支援する方式。

神戸市からの派遣状況(2月29日現在、延べ人数)

珠洲市 165人 | 珠洲市以外石川県 610人

神戸市能登地震支援サイト



日本維新の会神戸市議員団は石川県珠洲市へ**500万円**を寄付させていただきました。



令和6年1月8日神戸市・兵庫県合同出発式(兵庫県庁)



神戸市公式noteより

神戸市消防局公式Xより

代表質疑 (令和6年2月21日)

■ながさわ 淳一



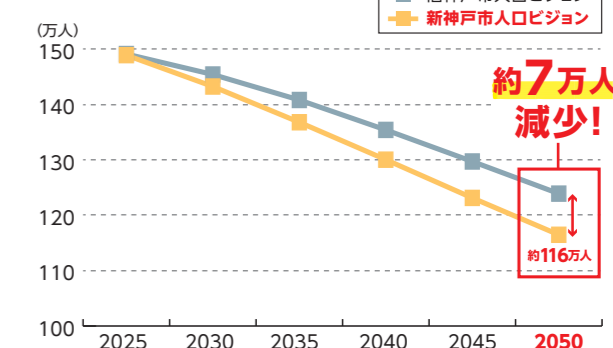
*人口ビジョンとは、神戸市が策定した人口の現状と将来の見通しを示す計画です。

人口ビジョン*の改定について

ながさわ 神戸人口ビジョンが改定されましたが、初めて、独自の算定手法で将来人口推計が行われ、2050年の推計人口を見ると、前回の神戸人口ビジョンと比較し、約7万人減少しています。今回の人口ビジョンを踏まえ、今後こういった観点で対策を講じていくのか、改めて考え方について見解をお伺いします。
久元市長▶ 神戸市は人口減少が進む中で、市民の生活の質を維持・向上させる政策を展開しています。人口流出、特に若年世帯と生産年齢人口の流出を防ぐための施策が重要です。大阪の高校無償化政策により、兵庫県内の高校生世帯の経済負担が増大し、人口流出が進む可能性があります。これに対応するために、高校生の無償化政策を取り上げました。神戸市は就職機能の強化、企業住宅手当等の支援補助金の創設、子育て世帯への切れ目のない支援強化などの施策を

行っています。また、都心と郊外のバランスのとれたまち創りに取り組み、まち全体の魅力を高める取り組みも行っていきます。神戸市は、全国的な人口減少が進む中でも、人口減少社会にふさわしいまち創りに取り組んでいきます。

■新・旧人口ビジョン比較グラフ



■原 直樹



宿泊税の検討について

原 宿泊税を導入している福岡市が実施した宿泊事業者へのアンケートによると、宿泊税を活用した観光施策としてMICE誘致による地域経済の活性化やMICE施設の整備、修学旅行の誘致受け入れ支援に対して高い評価を得ております。また宿泊税に対する宿泊客の理解も進んでいるという結果も出ており、観光MICE施策を推進する本市においても有効な手段であり、本市でも宿泊税の導入を検討してはいかがでしょうか。見解をお聞かせ願います。
今西副市長▶ 先行自治体の中では、例えば議員からもお話がございましたように、宿泊施設における多言語対応、あるいは

はDXへの支援、駅などのバリアフリー化、観光案内機能の強化といった受け入れ環境整備の他、MICE施設の整備、地域資源を生かしたコンテンツの造成などに宿泊税が活用されているものもあるというふうにお聞きをしております。ビジネスホテルや旅館など宿泊事業者の経営形態や宿泊者の属性の違いなどもありますため、引き続き課題整理を行いながら検討してまいりたいと考えてございます。

その他

電気バス導入の補助について、神戸教育情報基盤サービスの再構築について、身近な公園における取り組みについて、空家対策について質問しました。

■高橋 としえ



WHO神戸センターの見直しについて

高橋 兵庫県や神戸市等で構成される神戸グループとWHO本部との覚書に基づき、平成28年度から令和7年度にかけて、WHO神戸センターへ運営費等の支援が予定されています。支援は年間100万ドル(1.4億円)でありかなりの財政負担となっています。私はこれまでも2020年2月の本会議や2020年7月の総務財政委員会において当センターの存在意義について問うてきましたが当局による答弁は、「緊密な連携のもと、センターからの情報を市民に提供する」との事でした。一方で、先日の県議会において、「今後の運

営支援の在り方に関して、神戸市とも連携しながら、国の動向も踏まえ、県の財政負担の軽減につながるよう検討していく」との答弁がありました。センターは感染症対策を所管しておらず研究成果による市民への還元には課題があります。支援の是非も含めて見直しを行うべきではないでしょうか。
今西副市長▶ WHO神戸センターへの支援につきましては、兵庫県においては県政改革方針の中で、見直し項目に掲げられている他、ご指摘のように県議会において知事より財政負担の軽減に繋がるよう検討対応を行う旨の発言がなされました。第3期満了に向けて、兵庫県を中心に神戸グループとして今後の支援の在り方について経済界も交えて検討してまいります。